「マルチステークホルダー方針」

三菱ＨＣキャピタル株式会社（以下、当社）は、「アセットの潜在力を最大限に引き出し社会価値を創出することで、持続可能で豊かな未来に貢献する」ことを経営理念に掲げています。その企業経営においては、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。そのうえで、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持、経済の持続的発展につながるとの観点から、従業員への還元、取引先への配慮が重要であると考え、以下の取組を進めてまいります。

記

１．従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組むことで、付加価値の最大化に注力します。そのうえで、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善においても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等の人的資本投資への積極的な取り組みを通じて、従業員への持続的な還元をめざします。

（個別項目）

当社の報酬体系は、より職責の重い従業員に報いる職務重視の体系を採用しており、入社年次や過去の経験に関わらず、適所適材を通じて組織全体のパフォーマンスを最大化しつつ、人材の育成・強化を図ることを狙いとしております。具体的には、賃金の引き上げについては、生み出した収益・成果に基づき、市場水準や社会的情勢等を総合的に考慮のうえ、適切に実施してまいります。また、教育訓練等については、「階層別」「グローバル」「DX」「ダイバーシティ」の４つを人材育成の主要なテーマに掲げ、公募形式での研修プログラムを拡充し、社員が自らのキャリアを描き実現できる機会の提供に努めていきます。人的資本への投資により、当社が中長期的に成し遂げたいこととして掲げている「人材ポートフォリオの充足：当社グループの戦略実現に資する人材（量・質）の育成・確保」と「ＭＨＣエンゲージメント*の維持・向上」に取り組んでまいります。

*当社グループでは、従業員が一丸となって価値創造に取り組んでいる状態をＭＨＣエンゲージメントと定義しています。

２．取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・　パートナーシップ構築宣言のＵＲＬ

【https://www.biz-partnership.jp/declaration/60027-11-00-tokyo.pdf】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

３．その他のステークホルダーに関する取組

当社は、経営体制の高度化に向けた経営基盤強化策の１つに、「ステークホルダーエンゲージメントの向上」を掲げており、気候変動や人権に対する取り組みなどをもって、ESG 経営のより一層の深化を図るとともに、財務・非財務情報の適時・的確な発信を通じて、ステークホルダーの皆さまとの関係の緊密化に努めてまいります。

以上の 3 つの項目について、その状況を確認しつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和　7 年　 3 月　28 日

三菱ＨＣキャピタル株式会社　　代表取締役 社長執行役員 久井 大樹

法人名　　役職・氏名（代表権を有する者）